

## 2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

### 事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【北九州市】

学校名【北九州市立 南小倉中 学校】

1 実践テーマ	I・II・ <b>III</b> ・IV・ <b>V</b> （複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	第1学年 78名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ( 総合的な学習 )</p> <p>② 行事名 (オリンピック・パラリンピック教育推進事業)</p> <p>③ その他 ( )</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ( )</p> <p>② その他 ( )</p>
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障がい者の生活や苦勞を知り、体験を通じて障がいのある方たちと共生する社会について考える機会とする。</li> <li>・ゴールボール選手の話聞き、障がいのある方に限らず、力強く前向きに生きている先輩の実体験から、目標意識・目的意欲をもった生き方について考えさせる。</li> <li>・東京オリンピックに向けて、関心を高め、自分にできることは何かを考えるきっかけにする。</li> </ul>
5 取組内容	<p>&lt;事前学習①&gt;パワーポイントで教師が解説</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック・パラリンピックってどのように始まったの？</li> <li>・パラリンピックの歴史</li> <li>・現在のオリンピック・パラリンピックって何のためにあるの？</li> <li>・東京パラリンピックで実施される22の競技</li> </ul> <p>&lt;事前学習②&gt;パワーポイントで教師が解説</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴールボールって何だろう？</li> <li>・視覚障がいについて知ろう</li> <li>・視覚障がい種類・分類</li> <li>・本日の講師紹介</li> <li>・ゴールボールってどんな競技？</li> </ul>

	<p>&lt;講演・ゴールボール体験会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師紹介</li> <li>・講師の方の講話</li> <li>・質疑・応答</li> <li>・ゴールボール体験</li> <li>・ゴールボール選手との試合形式の体験</li> </ul> <p>&lt;事後指導&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感想文</li> <li>・講演のメモや感想文を掲示物として視覚化</li> </ul>
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいのある方が、力強く前向きに生きていることを知ることができた。また、目標をもって生きていくことの素晴らしさに、ふれることができた。</li> <li>・他者の個性や考え方を知ることができた。</li> <li>・オリンピック・パラリンピックに対する関心を高めることができた。東京オリンピックに向けて、自分にできることを考えるきっかけになった。</li> <li>・障がいをのめる方と共生するために、自分には何ができるかを考える機会となった。</li> <li>・パラリンピアン競技に対する姿勢や日々の努力を知り、実際にプレーする姿を見て、世界で活躍する「本物」のすばらしさを感じることができた。</li> <li>・視覚障がい体験を実際に経験したことで、理解が深まった。</li> </ul>
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障がいをもった方と接する機会がほとんどないので、交流を通して理解が深まるよう、内容を工夫した。</li> <li>・世界で活躍する「本物」に触れる機会を作るために、パラリンピアンによる講演会を行った。</li> <li>・実感を伴う体験にするために、全員にゴールボール体験をさせた。</li> </ul>
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学習だけでなく、保健体育科と連携して理解が深まるようにする。</li> </ul>
9 来年度以降の実施予定	<p>東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、子どもが「する・みる・ささえる・しる」の視点で、自分になにができるかを考えさせる取組を行いたい。また、選手だけでなく、コーチや大会ボランティアの方など、違ったスポーツに対する考え方に触れることができる機会を増やしていきたい。</p>